

2008年1月29日

報道関係者各位

楽天証券株式会社

「投資信託の振替入出庫サービス」の開始について

楽天証券株式会社（代表取締役社長：楠 雄治、本社：東京都港区、以下楽天証券）は、2月1日（金）より「投資信託の振替入出庫サービス」を開始します。

本サービスをご利用いただくと、お客様が現在他の証券会社や銀行等にお預けになっている投資信託を投資信託振替制度により、楽天証券に安全・確実に移管することが可能となります。

振替入庫の対象となる投資信託は、楽天証券で取扱いの銘柄となります。現在、「BRICs」「ノーロード」など人気の「244本」です（2008年1月29日現在）。楽天証券では、月に数十銘柄のペースで取扱い本数の急速な拡大を進めています。

（移管するにあたり、楽天証券への口座開設が必要となりますが、楽天証券では、口座開設料・口座管理料を一切いただいております。）

◇投資信託振替制度

投資信託振替制度とは投資信託の受益証券をペーパーレス化して、受益権の発生や消滅、移転をコンピュータシステム上の口座（振替口座簿）の記録により行うものです。2007年1月4日（木）より証券保管振替機構が開始し、多くの証券会社・銀行等が参加しています。

■ 楽天証券の投資信託！！

・ 投資信託専用サイト「投信スーパーステーション」

「投信スーパーステーション」では投資に必要な知識や情報を提供するだけでなく、「8つのナビゲーション」「3つの検索機能」により投資初心者がつまづきやすい「ファンド選び」をサポートします。

・ 多彩なラインナップ

「新興国投信」の取扱い本数46本、「ノーロード投信」の取扱い本数83本など業界



トップクラスの品揃え。また、今後も本サービスに対応すべく新規取扱いファンドや積み立て型投信などを続々と追加予定。

- ・ **投資信託専用ダイヤル**

投資信託専用のサポートサービス「投信はじめてダイヤル」をご用意。専門のスタッフが投資信託の仕組みや購入方法、リスクについての説明を電話にて無料でお答えいたします。

【金融商品取引法に係る表示】

手数料等およびリスクの説明について

弊社の取扱商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。各商品等へのご投資にかかる手数料等およびリスクについては、楽天証券ホームページの「リスク説明」ページに記載の当該商品等の契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

[「リスク説明」についてはこちらをご覧ください](#)

商号等：楽天証券株式会社

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第195号

加入協会：日本証券業協会、社団法人金融先物取引業協